

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

3 (1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化

(2) 災害関連情報の予測、収集・集積の高度化

灯台の自立型電源等整備により、消灯を防止し船舶交通の安全を守る（鹿児島県薩摩川内市）

事業者：国土交通省 海上保安庁

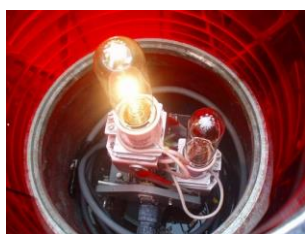
なかこしまどうりゆうていにし

中甕導流堤西灯台



対策前

電力線路



白熱電球



対策後

太陽電池パネル

LED灯器



対策名：63-4 航路標識の耐災害性強化対策（信頼性向上対策）



海上交通

主たる施策グループ：4-1) サプライチェーンの寸断・一極集中等による企業の生産力・経営執行力低下による国際競争力の低下

事業名：船舶交通安全基盤整備事業

- ポイント**
- 災害等に強い灯台機器等の整備（光源のLED化、電源の太陽電池化）を実施
 - 台風等による灯台の消灯被害を防止し、船舶交通の安全を確保

地域の概要・課題

中甕導流堤西灯台は、上甕島にある中甕漁港の入り口を明示するために設置された灯台です。

灯台が消灯すると、夜間、船舶が港の入り口把握が困難になり、安全に船舶が航行することができず、島民生活に影響を及ぼす可能性があることから、台風等においても安定的に灯台機能を維持することが課題となりました。

事業の概要

台風等の影響による灯台の消灯被害等を防止するため、灯台の光源のLED化、電源の太陽電池化するとともに、電力線路撤去等を実施しました。

効果

令和4年台風14号では、暴風を伴う波浪（近傍海域で最大波高約6メートル）を観測しましたが、波浪によるLED灯器の損壊や消灯被害を防止し、灯台機能を維持しました。

対策の概要

